

商 況

販賣旬報 第179號 昭和6年11月11日

製鐵所販賣部

東京に於ける鐵問屋の變遷 (其一)

I、和鐵鋼時代 (維新前より明治中期 日清戦争前に到る)

1) 此期間は日本に於ける鐵鋼創世紀とも云ふべき時代で、今日の様な鐵鋼の需要とは全然其趣きを異にして鐵問屋の一番金高になるものは釘地鐵であつて其に配合するに農工具用地金類及びフレ物と稱する鐵瓶、鍋、釜等現在の金物に屬するものが中樞をなして居つた、それも鐵一方では立つて行かないから、銅の地金、器物を取扱つて居つたが或は寧ろ此の方が重要であつたかも知れぬ、其形骸は今日も猶現存して居る。「東京銅鐵問屋組合」なる名稱がそれである。

2) 此「東京銅鐵問屋組合」の歴史は可なり古いもので、明確な事は分らぬが徳川の中 期からあつたものらしい。

昔は「釘鐵銅物問屋組合」と稱して居つた之れを以て見ても如何に「釘地鐵」が主要な位置を占めて居たかが窺はれよう、明治初年に到つて「釘地鐵」の外に逐次種々な品種を取扱ふようになつたので、「東京銅鐵物問屋組合」と改稱し、其後大正13年地金のみを取扱ふと云ふ理由で現在の名稱に改めた。其當時に於ける鐵物問屋の數は至つて少なく、會員は10名足らずで其主なもの

日本橋區江戸橋	今津屋 森岡平右衛門
神田區塗町	紀ノ國屋 三谷長三郎
日本橋區小傳馬町	越後屋 桑原七兵衛
日本橋區小傳馬上町	釘屋 竹内喜三郎
日本橋區通油町	炭屋 湯淺七左衛門

などであつた。

此頃即ち「江戸」と「東京」の過渡期には「九店」なる組織があつた、金物、蠟、油、船具、呉服、太物、酒、砂糖などがそれで、各々組合を作つて居た、それにも一つの商品の組合を加へたものが「10組」と稱するものでこれが東京の經濟界を牛耳つて居つたのである、今から見れば浮世離れがして想像も及ばぬ蠟とか、船具とか、云ふものが如何に重要であつたかと云ふことが分る。

明治維新の彼の長州征伐の時此9店10組が2萬兩の御用金を仰付かつて四若八苦した事が今も一話柄として残つて居る。此の御用金の爲めに組合から脱退する者があるやら2人が1軒の店に合併すると云ふ智慧者を

生んだりなどして大部騒動を起したとの事である。其後時世の變遷に連れて之等の組合も遂に雲散霧消してしまつた。

3) 此時期に於て主に取扱つたものは伯耆、備前、備中の和鐵鋼でそれが先づ大阪の問屋の手に渡り、東京は大阪問屋から仕入れをしたのである。此組合の規約等は大地震で全部烏有に歸したので明瞭な事は分らぬが、大阪と東京間には組合員以外に販賣し得ない嚴格な規定があり、勢力範圍も箱根を境界にして東西に別れて居つたが時には大阪問屋が東京の組合員以外に脱け賣りをして見付かつて騒いだ事もあるそうである、濱の眞砂と何とやらでこんな事は昔も今も一向變りがない、此の取引状態は明治17、8年頃迄續いた模様である。

4) 輸入の状態はどうであつたかと云ふと、此處に掲げ(寫眞省略)た寫眞に見る通り、明治8年に已に現存して居つた、尤も此頃はやはり釘地鐵の「細」と稱するものが基調をなして居つて餘程古くから若干の輸入はあつたとの事である。

餘談に亘るが寫眞を活字に直して見るとこれは2枚折りになる1錢の葉書で、表紙には

七月二日

今津屋平右衛門

濱本三南仲通角

桂屋善助様方

元 助殿

東京より

で宛名を翻譯すると「横濱市本町三丁目南仲通角」との事である。今津屋は御存じの通り現在の森岡商店である。

内容は「御紙面の趣承知致候70番細、又々明日セリ直し相成候由定めて此度は直出出來候哉と存候 出向き申度候得共何分疝氣にて困り入申候仲印に付可然御頼申上候此度は青計りの由是又承知仕候青計りに候 はば割合より把數多く引取申度と存候右御任申上候」

と云ふ譯である、解説を付けると

「70番細」は「横濱の70番館キルピー商會の釘地鐵用細物」「仲印」は多分仲町に住んで居る取引商人の事ならんとの話である。「青計り」鏝の付かない青い物計りの意

これで大體の意味は讀めるが、病氣が疝氣と云ふに至つては誠に古風で寧ろ奥床しい感を懷く。

此の様に明治の御代となるに及び横濱、神戸の外國商館が追々と活動し初めて逐次和鐵鋼を壓迫し初めて日本

に於ける鐵鋼の黎明は迫つて來た、明治 20 年頃の記憶を辿つてもらつた處によると、其頃の舶來は東京だけで 1 箇月大凡 4、5,000 噸と推定され横濱の外國商館に注文してから組合せ物に限つて 4 箇月目位で入荷した、寸法を特別に注文すれば手紙が届く日数だけ遅くなるので概ね 5 箇月は掛つたものである、その組合せと云ふのは丸鋼や平鋼に付き 3/8" から 2" に到る各寸法取合せて 115 噸とか 140 噸とかあつて、丁度釘の「零 3 號」などと云ふ組合せと同様であつた、この組合せは注文に便利な爲め歐洲大戰前位迄は其跡を留め最も利用されたのは明治 39 年前後だつた。

5) 型鋼など何時頃から使ひ初めたかに就て色々調べて見たが、今までに分明した處では横濱の吉田橋が明治 2 年 11 月英人アール、ヘンリー、ブラントン氏の設計で鐵橋に改造されし時人之れを「鐵の橋」と謂ふたこと、長崎の「濱の橋」通稱「大橋」と云ふのも明治 2 年に鐵橋に改造し「くろがねの橋」と呼んだとの事であるから、やはり海外よりの刺戟は開港地に一番早く響いた様である。

猶京濱で見ると明治 17 年には横濱の「みやこ橋」が竣工し、東京では明治 21 年に鐵橋、同 30 年に永代橋が出来たから此年代に弗々と型物が入つた様に考へられる問屋としては小川市太郎商店、梅岡平七商店などが之を取扱つて俗に「變り物屋」と稱して居つた。

6、斯る狀勢の下に、日一日と舶來品に侵略されながらも日清戦争前までは兎に角和鐵鋼が中心をなして市場を支配して居た模様である。

そして其取引状態は第一、仕入の輸入や大阪問屋から來る値段も概ね一定して居て殆んど變化なく、賣る方も夫に一定の口錢を付けて結構賣れて行くと云ふ様な譯で歐洲大戰當時の様な一攫千金の夢もない代り今日の様に賣買共猫の目の様な變動や競争もなく誠に穩健にして且長閑なものであつた。

1、2 月積先物協議會一角平 1 圓下げ

月日場所 11 月 5 日 大阪平和俱樂部
出席者 製鐵、四社、東西問屋
主なる議題

1) 1、2 月積値段の件

外注相場を見るに棒鋼類は先月に比し 20 セント方安値となり且つ從來は換算に際し陸揚費用其他として 2 圓 50 錢を加算し居りたる最近の物價安の爲め本月より 1 圓 70 錢と改正を希望するを以て希望値段の通り決定せられたしとの事なりしもチャージの件は何れ審議することにして角、平、1 圓下げ其他据置きと次の如く決定したり。

1、2 積先物協議會

品種	區分	入電	沖着	河岸着	値段段	希望	決定	備考
角鋼	ベース	\$ 18.25	¥ 57.17			56	57	1 圓下げ
平鋼	(本所分野)	18.25	57.17			56	57	"
大型	山形鋼	18.25	57.17			56	57	据置
工形	鋼	18.25	57.17			56	57	"
溝形	鋼(吋寸法)	£5-11-0	63.26			62	62	"
	(耗寸法)	18.25	57.17			56	57	"
丸鋼	ベース	18.25	57.17					
	9mm	5-1-0	60.39					
中小型	山形鋼	18.25	57.17					
鋼板	6mm 以上	20.70	62.05					
	4.5mm	20.70	62.05					
	3.2mm	21.55	63.75					
	2.3mm	25.20	76.02					
	1.6mm	26.15	77.92					
線材	B.W.G.No.5	26.50	64.79					
薄鋼板	10-14-0	119.14						
鐵力板	170lbs	1-8-3	12.46					
	100lbs	0-15-8	6.94					

黑板共販理事會—11 月積締切

月日場所 10 月 30 日 大阪電氣俱樂部
出席者 川崎、製鐵、中山、徳山、日鋼
主なる議事 11 月積締切

薄物の 11 月積申込は 10 月積の 3 萬噸近い數量に比して甚しく減少した。激減の原因は 9、10 月兩月共販引受數量が例月に比し多量なりし事及び 7、8 月頃意想外に市況良好にて品不足の觀を呈せし爲め又もや思惑外注を爲すものあり 9、10 月に入り相當纏りたる輸入品の到着ありしこと並に滿蒙事變の爲め輸出極めて不振となりたる等惡材料蝟集せしに基くものと觀察される。

厚物は需要期なる爲め 13 枚物に比すれば割合に申込み多く値段も 13 枚物程慘落せず相當の成績を示して居る。

斯くの如く受注數量非常に少なけれども將來に備ふる爲め 11 月渡は之にて打切り再賣出等を行はず徐々に時期を待つことに決定した。

尙薄物、厚物共申込全部引受けに決した。

(イ) 薄物部 内地向

製造者別	川崎	製鐵	中山	徳山	日鋼	計
申込數量	3,485 噸	100 噸	1,700 噸	556 噸	110 噸	5,951 噸

輸出向の 11 月積は賣出なし

(ロ) 厚物部

川崎	製鐵	中山	徳山	日鋼	計
2,655 噸	—	—	1,734 噸	433 噸	4,827 噸

中板共販理事會—12、1 月積賣出し

月日場所 11 月 7 日 於大阪
出席者 東海、製鐵及四社
主なる議題 12、1 月積賣出しの件

11 月積は買手側の希望と四圍の状態により賣出し無く單に少數の臨時引合ありたるのみにて此日の理事會に

ては 12、1 月積を賣出すことにした。他鋼材と同様外注値段は前月より復々若干の値下りを見せたを以て此上高値に留まることは再び外注を刺戟する虞もあるを以て今回は前回即ち前々月に比し 1 圓乃至 3 圓の値下げをなし次の通り決定し賣出数量には發表せず市場及び申込の狀勢を見たる上決定することとした。

4.5mm 3.2mm 2.3mm 1.6mm
前々月と比較 3 圓下け " 1 圓下け "
外注値段次の如し

品名	c. i. f.	河岸着(48-3/8)
4.5mm	\$ 20.70	¥ 62.05
3.2	21.25	63.16
2.3	25.20	76.03
1.6	26.15	77.92

締切 11 月 12 日

小型山形鋼第 8 回理事會—12、1 月積賣出し

月日場所 11 月 10 日製鐵所東京出張所

出席者 釜石、製鐵及三井物産

主なる議題 12、1 月積賣出値段の件

外注値段は前月に比して寸法により高低あるも傾向としては落調を否定する事は出来ない。然し一面内地の狀勢を見ると、當所の積遅れに依る市場の高値は未だ相當の處に留まり、又之が大體の決濟の付くまでに於て値下げをなす買手の迷惑の多大なるべきこと及び今日に於て外注をなす者あるとしても限月の短かき關係上充分之に應戦し得るを以て外注値段に比し相當値開きあるも今月は兎にも角にも前月通り据置くが至當なるべしとの事に於て次の通り決定した。

20mm 25mm 30mm 35mm 40(3mm) 40(5mm) 45mm
69圓(据置) 65圓(据置) 59圓(据置)

猶外注値段次の通り

品名	e. i. f.	河岸着(49-3/8)
3mm×20mm	\$ 20.50	¥ 61.66
3×25	20.00	60.66
3×30	19.80	60.26
3×40	20.00	60.66
5×30	19.40	59.46
5×40	19.00	58.66
4×45	18.50	57.67
6×45	18.50	57.67

締切 11 月 18 日

10 月中三港輸入鋼材—漸増

1) 泣いても笑つても本年も僅かに 2 箇月を餘すのみとなり、輸入の大勢も最早動かすべからざるものとなつた。大體去年の半數と云ふことも見當が付いた、其急激の減少には寧ろ啞然たるものがある、年初頭には如何に減少しても 20 萬噸は突破するものと想像したるに、これでは本年は精々 17、8 萬噸に留まる様に思はれる。

2) 然し考へ様に依つては殆んど 3 年に近い間下落の

一路のみを辿る鐵鋼界の此深刻な不況裡に於て 17、8 萬噸の輸入を見ると云ふことは一面から見ると多過ぎる様にも思はれるが内容を調べて見ると、内地生産力の不足である鉄力と線材で 85,000 噸と云ふ半數以上を占めて居る

其他では内地生産力と比較して稍贅澤をして居ると思はれるのは鋼板のみである、之を除けば恐らく此邊が最小限度ではあるまいかと思はれるもの許りである。して見ればやはり少ないと云ふことが實相である。

3) 10 月の趨勢も 9 月と同様再び線材と鉄力が増加して居る外此度は鋼板 (0.7mm 以下) が俄然 1,300 噸許り増加した。やれ鉄力は賣留めだ、黑板は申込 6,000 噸しか無い、線材も見合はせると内地メーカーを壓迫する一方には此の様にドシドシと輸入をする、そして其原因を尋ねるとメーカーが輸入をさせる様な種を蒔くから悪い、いや輸入をするから悪くなるのだと同じ事を繰り返して居る。

條鋼類では丸鋼の 3/16" や 1/4" が一段落となつて減少したが内地市場は輸入の減少した頃から、そろそろ悪化して來る、平鋼も一頓挫の形勢となつた。其他は殆んど無に近い、要するに條鋼は丸、平を除けば其形を残すに留まると云ふてよい。

鋼板は條鋼に比すると、どうも山氣が多い感がある、生産能力が餘つて居るものを輸入すれば必ず後腹が痛んで輸入した儲け位はケシ飛んでしまうと云ふことは萬々承知して居ながら、ともすると一時的の供給不足に乗じたがる傾向を改めない。(三港輸入表後付)

ブラツセル齋藤囑託通信 11 月 2 日入電

東洋方面よりと保護關稅見越によるイギリスとの引合多き爲め市場は稍好轉せり。

値段變らず。紙幣スターリングによる相場次の通り。

棒鋼	大型山形	中小型山形	工形(B.S.)	鋼板 (3/16")
3-17-6	3-17-0	3-17-0	3-16-0	4-10-6

10 月 18 日發信 市況は磅相場の落着と共に幾分見直し多少商談出來申候建値は白耳義法、佛法等ありしも大體紙幣磅を用ひしもの多く即ち棒鋼 3-17-0 乃至 3-17-6 (白耳義法建は 536 法乃至 540 法) 工形 B.S. は 3-16-0 にて取引せられ申候但し一般唱値は次の如く尙金磅建と致居候

	Exports	Inland
Bars	£ 3-1-6	fr. 555
Angles	3-1-0	555
Joist N. S.	2-19-0	590
" B. S.	3-1-0	565
Sheet Bars	2-19-0	—
Blooms	2-14-0	—
Billettes 2" to 2 1/4"	2-18-0	—

今週は薄板は英國よりの格安 offer ありたるも商内はなかりし模様候 即ち Plates $\frac{1}{2}$ " に対する英國メーカーの offer は 7-2-6 自耳義メーカーの offer は 7-15-0 (何れも f.o.b. アントワープ) にて候

10月23日發信 市場は幾分落着き氣味なれども一向變りなく細々ながら幾分注文成立の模様にて建値は金磅取引は紙幣磅に御座候 當國メーカーは尙ホツボツ休基を増加せしむる傾向あり現にウーグレーは今週1基火を消し申候 勞銀問題は尙懸念中にて近く工勞大臣の仲裁を見る事になるべく一部は既に職工側の不承知に拘らず15日以降2 $\frac{1}{2}$ %の引下を實行せる工場有之候尙殘る2 $\frac{1}{2}$ %は1月15日引下實行の手筈と云はれ候。英國製品は先週薄板に offer を見今週は半製品に格安の競争値入れ有之候

東西市況—萎縮 世が世なら未だ未だ需要期節として相當の荷動きを見て居る筈であるのに今年は今から暮が來た様に荷動きは止まる金融は梗塞する、其上10月6日と11月5日の再度に亘る日銀金利の引上げは益々事業界の萎縮を豫感せしめて一般に警戒氣味となり、賣りたい様な處では叩かれるし、買ひに來る様なものは恐るしく、手も足も出ぬと傳へられて居る。

東京市況

丸鋼 6mm は此の處現物は一寸途切氣味で下支へて居るが先は伸鐵と舶來の入荷を豫期して6圓7,80錢位を稱へられて居る、9mm は入荷と先安見越しから稍賣焦りに弱腰と見られ 12mm は伸鐵と製鋼兩方面の入荷に品薄も漸く緩和状態となつて軟調を見せ、ペースは此處へ來て益々賣行振はぬ爲め小甘く60錢は出來ると云はれ、見積物に到つては5圓50錢でも困難で40錢さへ出來たと噂されて居る、中丸以上は前旬通り55, 60, 70, 75, 80mm などの切れ物の爲め全般的に耽りの様に思はれて居る。

角、平鋼 角、平共當所先物の値下げを耳にしたのと賣れないのが搦んでザリ食となり平の積遅れも追々と入荷の氣勢があるので軟調と見られて居る。

型鋼 中型山形の現物品扱は其後益々甚だしく、市中にも殆んど影なく大部困つて居る筋もある様で、相場も一寸小耽りとなつた、大型等山は弱保合、不等山の3×4, 3 $\frac{1}{2}$ ×5なども中型等山に連れて小堅くなつた。其他も品薄氣味なるも一向利かず弱含みを傳へられ、溝形も $\frac{5}{8}$ ×3×6が未だに6圓70錢搦みに留つて居る外は相當高値の儘保合つて孤城を守つて居る感がある、工形の惠まれざること變らず。

鋼板 1.6mm は外注と内地メーカーの入荷がザリザリと利いて落調已まず、2.3×4×8が品薄高を告げ3.2mm は1.6程には悪化せざるも頭重を續け 4.5mm は落ち付

きとなり 6.0mm は遂に3.2mm と同値まで漕ぎ付けた程の強調を見せ 9.0mm 以上も品扱れに耽りである、前旬まで榮華を誇つた番板は僅少の入荷に反落となつた。

大阪市況

丸鋼 これと云ふ程の材料はないが市場は相變らず活氣薄く賣人買人ともに先材料待ちに見送つてゐる様子である。細丸 $\frac{3}{8}$ "及び $\frac{1}{4}$ "は舶來品及び伸鐵品の入荷で一吋伸惱みの態にて $\frac{3}{8}$ "以上のものは伸鐵方面も安値には應ぜざるため相場も比較的カツチリしてをり6圓見當を唱へられてゐる。 $\frac{1}{2}$ "以上の民間寸法は出廻圓滑にて且つ目立つた需要擡頭せざる爲め鳴りを静めた形である。中丸は市場品薄のため相場も6圓40錢見當と云はれてゐる太丸の賣行は依然抄々しからざるも舶來品入荷一巡に加へて當所よりの手當薄のため保合。

角、平鋼 角鋼は最近外注品の入荷に幾分引弛み其他は市場品扱れにて6圓搦みを唱へられてゐる。平鋼は伸鐵品 $\frac{5}{8}$ "等は市中在庫薄なれ共目立つた必要なため氣配は軟弱である。 $\frac{1}{4}$ "以上のものは極度の品扱れにて従つて相場も耽りしてゐる。

型鋼 等邊山形鋼小型物は相變らず手當薄にて殊に $\frac{5}{8}$ "×1"は7圓70錢と目立つた相場を示してゐる。中型アングル $\frac{1}{4}$ "×2"は流石日用品とあつて市中皆無と云はれ相場は6圓60錢と光彩を放つてゐる。其他中型アングルも目下品薄にて6圓搦みを唱へられてゐるが先行軌弱を豫想されて不冴。大型物の賣行不振は前報と變らず溝形鋼、工形鋼共當所品弗々入荷あるも順次消化されまづ無難に推移してゐる。

鋼板 1, 2中板は外注品、國産品共に在庫豊富にて3, 40錢方の下落振りを示し市場賣氣横溢してゐる。厚板は極單なる品扱れを現出し相當高値を唱へられてゐる、 $\frac{3}{8}$ "は7圓30錢見當にてそれ以上の厚ものは6圓80錢—7圓搦みを唱へられてゐる。

線材 需要期を見込んで買込んだものが重なる惡材料に禍されて一向に荷動きなく一方相場は恰も風に木の葉散る如き慘落振りを示してゐる。

衰蟲に數ふるほどの葉となりぬ

鋳力板 正品級の商品は前報と大差さきも他方英國品のスクラップの市場ストックは賣行不振から漸増の態にて且つ米國品は在庫豊富にはあらざるも原價高にて買手は見向きもせぬ有様と云はれてゐる。

販賣旬報 第180號 昭和6年11月21日 製鐵所販賣部

鋳力板協議會—12、1月積復々中止

何時になつたら夜明の霧が晴れる事やら、情ない様な

鬱陶しい市況が続いて居る、11月6日、大阪平和俱樂部で12月積鉄力板協議會が開催された。約3箇月本所の賣出が中止されて市場は一層英、獨物が幅をきかして居るらしい、どんなにやつきとなり奮發しても完全に外注防遏の出來ぬ鉄力板の如きは、全然外國相場に支配されるのは當然のことで關稅其の他の保護が無くては此の部門の産業は如何なる形式のもとに於ても振興するなどは夢にも考えられまい。

月に日に下押す市況に對抗して、未だ期限遅れも完全に回復せぬ際僅か500噸内外の鉄力板で飛び離れた安値を出すのは内外何れの點から見ても好ましくないとあつて今日も又相場を立てなかつた。

然し今迄と異つて、本所は賣らぬと云ふのでなくて、買つて呉れる人さえあれば内外相場を基準として、市況を壊さぬ程度の建値のもとに若干賣つても差支ないのであるが四社の統制は事實頗る完全らしいので恐らく抜買される様な事はあるまい。

参考迄に外注相場を掲げて置く。これは世界中最も安値の報告で事實此れで立ち處に買ひ附けられるとは保障の出來ぬ相場である。

8月3日引合 獨逸物 換算			
100	ポンド物	0-14-10 半	8.02
170	"	1-6-11 半	14.48
10月、11月積物			
9月4日引合 英國物			
100	ポンド物	0-14-9	7.94
170	"	1-6-1 半	14.03
11月積物			
10月8日引合 英國物			
100	ポンド物	0-15-9	6.99
170	"	1-8-3	12.49
12月積物			
11月6日引合 英國物			
100	ポンド物	0-15-6	6.89
170	"	1-8-3	12.40
12、1月積物			

ク油とベンゾール類

1、輸出向クレオソート油益々好調。米國購買力の大減退によつて一抹の不安を投げんとした當所クレオソート油本年度の輸出向契約状態も仲介筋の努力宜きを得て全く杞憂に終り品質の良好と相俟ち其後益々順調なる商談を見せ内地品供給過剩の状態を引續き完全に緩和しつつある、曩に9月未滿珠丸によつて3,615噸と云ふ記録破りの大量積出しをなし殆んど貯藏タンクの底を見せたが、今回更に品質の改善を期し後半期第1回商談として又々3,500噸の大口契約に奏效した。既報3月末渡千珠丸3,365噸積以降の輸出量次の如し。

積込時期	船名	數量
5月下旬	ベニス丸	784噸785
9月下旬	滿珠丸	3,614噸511
計		4,399噸296

因に4月以降本月上旬迄の本年度内地向積出數量は約1,005噸である。

2)ベンゾール類價格の推移 混沌たる揮發油の依然たる商況をよそに再三山が見べたと傳へられ乍らも時局の影響により各社益々賣物逼迫の折柄前者と關係の深い燃料向及び溶劑向の各種ベンゾール市場は一向毎に尙多少の昂調を示し相變らず無物高を報ぜられて居る。

「之で數量さへあれば」とは取扱筋の様に云ふ所だが數量があれば時節柄斯様な市況を勿論棄にたくとも見られまい。去月末更に11月、12月渡について5圓値上の協定をなしたる關係の當所ベンゾール類も4月以降の賣値は次記の様な急激な上騰振りを示して居る斯界商狀大體の推移を窺ふ事が出来るであらふ。

(1) モーターベンゾール

單位	3、4月渡	5、6月渡	7、8月渡	9、10月渡	11、12月渡
70噸以上	145圓	150圓	160圓	165圓	170圓
35噸以上	155圓	160圓	170圓	175圓	180圓
35噸未滿	165圓	170圓	180圓	185圓	190圓

(2) ソルベントナフサ

20噸以上	117圓	122圓	132圓	137圓	142圓
20噸未滿	122圓	127圓	137圓	142圓	147圓

(3) 製鐵テレメン油

120圓	125圓	135圓	140圓	145圓
------	------	------	------	------

(註) 1) 以上各八幡工場構内渡容器付1噸當單價なり
2) ソルベントナフサは3、4月渡迄は30噸を單位、5、6月渡は25噸を單位とせり

中型山形鋼定期契約の成立 豫て協議中であつた中型山形鋼の定期契約に就ては去る4日及び12日に於て慎重に審議の結果次記條件を以て目出度成立を告げた 今回の定期契約が從來と異なる重なる點は第1は今迄は定期契約以外に先物及現物等他の方法を以て買ひ得る方法が残されたのに此契約に限つてはメーカーは特殊のものを除いては只此定期團の契約數量のみの契約に應じ他の方法では販賣し得ない事である。

第2は増も1割に限定されて居るから6箇月間に3萬9,600噸以上出すことが出來ないと云ふ事の2點である。過去3年間の此定期範圍のものゝ供給數量を見ると

	等邊	不等邊	計
	(50mm-100)	(3'×4', 3×5, 3½×5)	
昭和3年	134,514	16,471	150,985
昭和4年	114,830	29,485	144,315
昭和5年	107,127	22,231	129,358
3箇年平均	118,824	22,729	141,553

となる、昭和7年が此數字より如何程の減少を來すかは見る人に依つて異なるが此定期以外に2級品、官廳品があるとすると兎に角6箇月間の最大限度即ち責任數量の1割増たる約4萬噸も決して過多の數量とは思へない。

又此定期契約を結ぶに當つて、東海鋼業の九州關門地方の100 噸に満たぬ小口賣も大阪市中で疑心暗鬼を生む虞があると云ふ買手側の話により斷然賣らない事にした程嚴重なものであるから買手側も非常な責任感を持つて其成果は充分揚がることゝ期待されて居る。

次記 1、期間 昭和6年12月積より向ふ6箇月間
2、數量 責任總數量 6箇月間 36,000 噸

内譯	三 菱	28,800 噸	岩 井	1,500 "
	安 宅	900 "	伊藤(信)	600 "
	岸 本	600 "	伊藤(宗)	300 "
	岡 谷	3,300 "		

とし其 1 割増減差支なきこと 但し毎月の申込數量は

三 菱	4,800 噸	岡 谷	550 噸
岩 井	250 "	伊藤(信)	100 "
安 宅	150 "	伊藤(宗)	50 "
岸 本	100 "		

とし其 1 割以内の増減差支なきものとす。

3、値段 外注値段を標準として是より上廻らざる範圍に於て組合に於て之を決定するものとす。

4、其他 本契約繼續中當組合は今回決定したる指定商以外には官廳直接注文品を除く外 1 切販賣せざるものとす

中型山形鋼 12 月積値段決定—据置 中型山形鋼の定期契約成立しての第 1 回値段即ち 12、1 月積に對する値段は協議の結果 11 月 14 日次の通り前月据置と決定した。

等邊山形鋼 56 圓 不等邊山形鋼 57 圓

厚板共販理事會—12 月積賣出し

月日場所 11 月 19 日製鐵所東京出張所

出席者 川崎、淺野、東海、製鐵

主なる議題 12 月積耳付鋼板賣出しの件

内地市場は品薄狀態を續けて相當高値に踏み留まりをるも海外は其後一向好轉の模様もなき爲め此際値上げも不能なると同様値下げも理由無きを以て全部前月据置きの次の通り決定した。

耳 付	57 圓(一般賣59圓)	据 置
定 尺	64 圓	"
切 板	66 圓	"
ポイラープレート	130圓(但し1 噸以上)	"

締 切 11 月 25 日。

ブラッセル齋藤囑託通信 11 月 13 日入電

市場閑散、商談なし、相場變らず

11 月 1 日發信 市況は一體不變に御座候へ共今週は東洋より(支那より)入注ありたるとかにて幾分荷動を見たりと云はれ候 且英國總選舉の結果保守黨の勝利は保護關稅の設定を見るべく此結果幾分見越輸入的商談有之候 當地にての意見に依れば保護關稅は 其の課稅程度も輕

微なるべく且英國内地の市價も是れに比例して引上を見るべきに依り大體に於て對英鐵鋼輸出には 大なる影響を及ぼさざるべしと云はれ居候

尙當市場の輸出向建相場は 或は法或ひは金磅或は紙幣磅と云ふ次第にて未一定を見ず候

東西市況—不振 市中閑散で何等の變化なく、要するに同じ様な事を前後左右から書くと云ふに留まると云ふ無風狀態である。

今迄の戦争は鐵鋼界を跳らしたものであるが 此度の滿洲事變だけは今迄の處では製品の捌け口を梗塞したと云ふ惡材料以外何物も提供しない。それに師走が近づくに従つて日 1 日と金融が窮屈となつて彌が上に業界を萎縮不振に導いて居ると傳へられ、今から大晦日の心配を通り越し 2、3 月の交の不安を心配して居る 筋さへある程である。

東京市況

丸 鋼 6mm の現物薄による下支へは未だ變らず、9mm、12mm 共之れと云ふて目立つたことは見えないが不相變の弱含みで 5 錢方は下押した模様である。ベースもザリ貧を續け今旬は 60 錢が已に成行と變つた、見積物の 40 錢揚みも改められず悲觀の態である。中丸以上は品薄に小堅く此邊を往來して居る。

角、平鋼 角も崩れそうで崩れず、揚含みながら保合を續け、平はどつちかと云へば民間寸法物が出荷が自由である爲め安値となり易いと見られて居る。

型 鋼 型鋼は此處へ來て全般的の品薄狀態とはなつたが、賣行不振の爲め反撥力なく、無くとも間に合せて居ると傳へられて居る、中型等山はメーカーよりの出廻り不順調に硬化し、不等山の共販寸法も 同様な狀況の爲め小戻しとなつた。大型等山、不等山當所 寸法は前述の通り品薄であるが一向冴えず、溝形のみは高値保合の態度を改めず喜ばれて居るが工形は品 不足の割には沈淪して居る。

鋼 板 中板類は全般に手持潤澤となつた 爲め軟調を辿り、只 23×4×8 と 5×10 が品薄に小戻りを守つて居るのみである、之に反し 60mm は基調を續け遂に 45 mm を上廻る様になり 90 mm 以上も小堅く保合つて居る。番板は落調急に最早見返る者もなくなつたと云はれて居る。

大阪市況

丸 鋼 安いやうでも崩れず、堅いやうでも伸びず 昨今の鋼材市況は全く氣逃保合に入つて展開の 模様がない 即ち共販組合の統制を受けてストックは極度に減少してゐるが香ばしい需要が伴はざるため 商内は不振の域を脱

しない。臺灣方面よりの稍纏つた注文もメーカー直接に引受けて問屋は指をくわへて眺めてゐる有様と云はれ又最近北陸方面の所謂大阪の販賣地場を東京方面の商人に荒されてゐるとの事で大阪市場は人氣を悪くしてゐる。6mmは外注品に押され氣味であつたが荷廻一巡にて茲許幾分落付を見せてゐる。9mmは需給關係順調にて相場も保合を持続。中丸55mmは品拂底にて6圓60錢を唱へられ其の他のものは當所品出廻悪しく小戻りを示して居る。

角、平鋼 角鋼32mmは當所よりの荷廻皆無にて相場も6圓50錢と小堅い。目先も當所定期廢止等を眺めて幾分樂觀する向がある。平鋼民間寸法ものは伸鐵方面が丸鋼の製造に能力を集中してゐる爲め市中品薄にて従つて相場もカツチリしてゐる。

型鋼 等邊小型アングルは當所よりの出廻り順調に加へて伸鐵方面よりの手當にて稍引弛み。中型等山は當所定期の問題もあり且つ共販より供給される數量も完全に消化し難い現状にあると云はれ先行も懸念されてゐる。6×50は品掠れにて6圓40錢、6×65は6圓30錢と光つてゐる。溝形鋼は市場在庫普通であるが當所品の値下げ發表により目下ジリ安歩調を辿つてゐる。工型鋼は前旬と大差なし。

鋼板 1、2中板は賣行捗々しからざるため先般の共販賣出中止も市況にはさしたる影響もなく茲許伸惱みの態である。厚板は各問屋とも手持薄にて且つシーヤ方面よりの出廻益々不順調と相俟つて氣配は戻りしてゐる。45mm等は7圓20錢を唱へられてゐる。

線材 需要不振にて金融引締り不況の度は益々深刻化し業界不安加はり目先暗澹たるものがある。大陸物は目下1英噸に付65圓と唱へられてゐる。

鐵力板 4社の中某社と小賣市場進出に各問屋共脅威を感じ、さらでだに賣行不振に業を煮やしてゐる昨今とて市中は恰も冬枯れの淋しさを感じる。

客足の絶えし茶店や紅葉散る

販賣旬報 第181號 昭和6年12月1日

製鐵所販賣部

東京に於ける鐵問屋の變遷 (其2)

2、洋鐵鋼時代 (日清戰爭より大正末期に到る)

1) 此約30年間に於ける鐵問屋の變遷は誠に目まぐるしいもので全く面目を一新したものと云へる。

維新以後に於ける日清、日露、日獨一歐洲の3戰爭は各々劃期を成して日本全般を飛躍せしめたが特に鐵問屋に及ぼした影響は甚だしいものである、其内でも歐洲大戰爭は到る處に鐵成金を輩出した、大阪に於ける何とか云ふ女成金の話や、鐵釘1枚が千何百圓で賣れたと云ふ

物語りなど榮華の夢物語りとして大して不快でもないが木挽町の萬安樓のセリ市で藝妓に角力を取らせて勝つた方へ賭けた者の日値で賣買したなどと云ふ話に至つては正に狂沙汰である。

先づ此邊が鐵問屋の勃興の絶頂で戦後の反動で大部痛手を受けて整理したとは云へ儲けが大きかつただけに大正末期迄は未だ悠々其派手姿を誇つて居たものである。

要約すれば其需要の大部分を輸入に仰いで居た此30年こそ鐵問屋の黄金時代で現今に於ける東西鐵問屋の大部分は此時代に其基礎を確立したものである。

2) 此期間に於て問屋に取りて特異な現象は、所謂「引取屋」の活躍と消滅及「5社」なるもの、出現である。

「和鐵鋼時代」に於ては前述の通り、其取扱數量の寡多は別として鐵鋼は直接メーカーと問屋間に於て取引せられて居たが、洋鐵鋼時代に入るに及んでは外國のメーカーと取引することなどは勿論出來ず、横濱、神戸の異人館の紅毛の徒を相手とするとの餘儀なき状態となつたが9店10組などと云ふ當時の鐵問屋でやれインボイスだB. L. だとやられても一寸手に負える者はない。

元來我々日本人程お人好しの國民は世界中何處にもあるまい。日本人が外國へ行く場合には英語だ、獨逸語だ、佛蘭西語だと悲鳴を擧げながら小さな身體に無理矢理に詰め込んで、彼等の言語で話せないのは一生の不名譽と心得、「世界見物」の藪野椋十老でさへ「エキスム、キユースのミーかれ」と船中で覺えなければならぬ程の苦心をする。

郷に入つては郷に従へと言ふこともあるから彼等の國に行く者は、それもよからう、我慢しよう。然し日本へ來て商賣する彼等に迄平身低頭して彼等の言語を語らなければならぬとは何と情無い次第ではあるまいか、西洋人の姿さへ見たこともない山間僻地の停車場に英字の驛名を出して居る程外國人に對して親切な國である。日本生れの日本の大使に、「お前はこれから日本語を使へ」と外務省から電報したと云ふ新聞の記事など、何度讀み直しても吹き出さずには讀めない。

思ふて此處に到ると涙滂沱とまで行かない迄も何とも残念至極である、せめて日本國內だけでも日本語が通じたら我々はどんなに能率が上がるか分らぬと思ふ。

3) それは扱て置き引取屋と云ふものは此過渡時代に此機微を狙つて一寸外國語でも喋べれて、鐵鋼の事が分る者が問屋と商館との間に立つて仲介したのに初まつた様である。

聞き集めた處を綜合すると其元祖は横濱の鐵商の柳下長次郎氏と柳下平次郎氏が共に鴨井屋と號して明治初年

に初めたものらしく、當時にあつては取引も誠に微々たるもので、最初は取引の当事者は商館と問屋で、引取屋は單なる仲介者兼保證人に留つて引取屋は仕譯手数料と引取手数料を取るに甘んじて居たのである。

然るに明治10年前後に於て鴨井屋に番頭をして居た岩崎由次郎氏が獨立して引取屋專業の店を横濱に出すに及んで漸次取引數量も増加し遂次其資力も豊富となり明治24、5年頃初めて商業會議所が出来て約束手形など現出する頃には岩崎一派は益々勢力を擴張して横濱に於ける引取屋を殆んど一手に収める様になつて、今迄の問屋—商館の取引状態は遂に引取屋—問屋間の取引に代り、商館との直接取引は引取屋の手に歸する様になつた、従つて引取屋は、三重の商買をする様になつた、即ち一は問屋の注文による仲介業、2は自己の思惑による賣買3としては此頃商館と引取屋は現金取引であつたが問屋と引取屋は約手を流通せしめたから、それによる日歩稼ぎと云ふ此の3種である此引取屋は鐵鋼のみでなく硝子等も取扱つたものであつた。

4) そして其全盛期は日清戦後より日露戦争に至る間で其の岩崎氏の外に浪川清吉、小川太三郎、大垣直太郎などの著名引取屋が出現したが、明治34年に大垣氏が眞先に破産し日露戦後岩崎氏が銅の思惑に失敗して其形を没する一方に於て問屋筋も追々と外國商人との取引にも馴れて明治32、3年頃東京に於ける主要問屋たる桑原、森岡、湯淺、河合、淺井の5氏の共同出資により帝國貿易會社を創設して直輸入を開始する状態となつた。外國商館も引取屋の信用が稀薄となると共に問屋が目覺めて來たのに刺戟されて追々と其取引状況を昔に還して直接問屋の名による取引となし、引取屋は再び單なる仲介者に戻つたのであるが其生命も永くは續かず明治末期に至つて遂に其姿は何處にも見當らなくなつた。

5) 斯くして引取屋は消えたがやはり問屋は直接の取引は出來なく之に取つて代つたのが三井、大倉組等の貿易商である、之れは横濱商館を中間に置かず直接外國との取引に手を染めて問屋との中間に立つことゝなつた。之が將來5社となる前身である。然らば此引取屋と貿易商の間に如何なる差があるかと云へば一言にして盡せば資本の大小である。横濱隨一を誇つた岩崎氏でさへ10萬かそこらの損失によつて失脚しなければならぬ程度のものであつたのである。之に反し三井、大倉等が如何なるものであるかは御存じの通りである。

直接聞かないから保證は出來ぬが、三井が鐵鋼の直輸入に手を付けたのが明治22、3年頃、大倉組が少し後れて明治25、6年頃ではあるまいかとの話である。

6) 日露戦後は日本としては國防的見地による鐵鋼の切要性と國內に於ける洋風建築などの増加に伴ふ急進的な需要の増加の爲め鐵問屋の形態も漸く舊套を脱して來たか何と云ふても其革命的變化は歐洲大戰であつた。

當時未だ國內の供給力は微々たるものであつたが、それと反對に需要は日に増し激増を見、従つて其大部分を輸入に仰いで居た時代に歐洲大戰の突發によつて全く其供給の途を封鎖せられたのであるから鐵が貴金屬扱ひを受けたのも無理とは云へない。

屢談した通り問屋は此戦争による成金の蒞出と戦後の没落の山積により整理せられて大正の終りに近づいた。

7) 何の因果か知らないが日本では戦争前には何時も鐵價が安くなる、と云ふ者があるが實はそうでなく、戦争の時が異常に高く其前後が常態ではなかつたかとも考へられる、丁度我々がクローブ君の投球を見る前迄は伊達君の球が非常に早いと思つたが、所謂スモーク、ボールを眺めた後では日本の投手の球が馬鹿に遅い様に感ぜられると同様の心理状態ではあるまいか、

明治33年を基準とした次の洋鐵指數を見ても此關係はあまり明瞭ではない。

指數	100	85	81	80	82	80	83	91	84	75	76	77	91	
年次		33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
明治														
指數	82	82	154	233	382	463	276	259	159	142				
年次														
大正		2	3	4	5	6	7	8	9	10	11			
指數	150	129	123	106		101	108	110						
年次														
大正		12	13	14	15	昭和	2	3	4					

そんな事はどうでもよいとして、日清戦争前後は鐵價は概ね7志6片(1擔)であつたが戦争の爲め12志迄昂騰した、日露戦前は鐵は8志で爲替が2志が常識となつて居たのが戦争により12志まで暴騰しそれが40年の暮には元の空阿彌となつて大分問屋も整理された、越えて歐洲戦前は鐵價著しく下落して殆んど現在と同様の噸58、9圓となりそれが戦争最中には棒鋼噸400圓鋼板700圓見當まで狂奔したが戦争終熄によつて忽ち暴落となつた事は著名の事である。

8) 現今では一寸した建築には鐵が無ければ出來ない様な具合であるが、こうなるまでにどの様な發達の過程を辿つたかと云ふと、何と云ふても日本に於ける洋鐵の濫觴は「釘」であることは前回書いた通りである、之れに就ては何れ「釘工場」の記事を書く豫定であるから其折に割愛するとして、それに亞では日清戦争頃から棒鋼の需要が増して來た、それは今迄木で作つてあつた窓格子などを逐次丸鋼に代へる様な傾向となつた事とリベットなど

の需要が増えて来たからだとする事であるが今から考へれば其數量など知れたものである、それだけの數量でさへ鐵價に響いたと云ふから如何に需要が尠なかつたか分る。

角は例の人力車と手車の發達に負ふ處が多い。

平は地方自治體が確立するに従つて道路の關係上車輪の幅などを規正し初めた爲め、改正の度毎に著しい需要増を見たとの事である。

鐵を建築に使つたのは、いつ頃かと色々調べて戴いたが其結果によると東京方面では麴町上二番町の三井高保氏が濃尾の地震の經驗によつて現今の横川橋梁會社の技師で當時の洋行歸りの人の設計で明治26年に鐵骨ブロックの家を建築したのが初めらしい之れに續いてやはり鐵骨ブロックで元の三井銀行が建築された、

明治43年築地の海軍省を英人技師監督の下に佛蘭西のヘメビツク式で建築したのが鐵筋コンクリートの嚆矢と傳へられて居る。猶鐵骨、鐵筋コンクリートは震災後手入れた丸ビルが最初の様である。

之れから考へると明治末期に近づくに従つて追々と鐵の用途が現代的色彩を帶ぶ様になつたと思はれる、歐洲戦後に至つては、草莽々だつた三菱ヶ原が10分間洋行と云はれる程鐵筋、鐵骨の建築の櫛比と化した事によつても其程度が窺はれよう、歐洲戦後内地の鐵鋼生産額は著しく増加したとは云へ大正末期迄は未だ輸入鐵鋼の全盛時代で問屋も所謂「面白味」が一番濃厚な時だつたのである次で來つたのが國産鐵鋼時代の昭和の御代である。

六軌會—2圓下げ 11月27日午後3時より工業俱樂部に於て六軌會開催一般共些して賣行良好と言ふに非ざるも2、3箇月前當所一中形工場スケルプ注文輻輳の爲め其の花形たる6kgレールの精整充分ならず、從て積出も多少圓滑を缺きたる事を取立て苦情を列べ居りたるも最近に於て積出順調になり只一片の愚痴を言ふて見たい様な氣になつたものと思はれる、愈本題の値段協議に入るや、最近は殆んど外注とてなく、正確な入電とてまなけれども對英爲替の亂調子に連れ一般鋼材の先安の氣配を斟酌し一般賣値次の通り決定した。

記 10哩未滿の場合 1佛噸 金 70圓替

超 10哩の場合 " 金 68圓替

線材共販組合協議會—12月積賣出し

月日場所 昭和6年11月24日製鐵所東京出張所

出席者 神戸製鋼、製鐵所、外に5社側代表者

主なる議事 12月積線材賣出の件

劈頭 5社側より別紙外注値段表の提出あり即ち前月に

比し 60仙安を示し居り疏當り換算 64圓37錢となれり。

一方市場の情勢を見るに日支事變のため支那向輸出は杜絶し製品及原料の在荷は激増を示し市價は漸落の一途を辿り現在の小口現物出來値は大阪 61圓50錢東京は 62圓見當を傳へられる。是れが爲め當月物は何程賣れるか各社共全く自信なき次第なるも從來の外注追隨主義を遵奉すると共に市場の軟勢も加味し前月の2圓50錢下げ即ち製鐵物 63圓50錢、神戸物 63圓に決定願度と申出ありたり。

以上に就き組合側にて協議の結果斯る際には徹底的の外注防遏を必要とするを以て買手側に外注手控へを希望する條件の下に全部買手希望の通り次記値段に決定せり猶數量は、買氣なき折に賣出數量を發表するは無意味にして反つて市場を迷はす原因となるを以て自然の申込に委すこととせり。

次記 (イ) 數量發表せず隨意申込のこと

(ロ) 値段 1噸につき

製鐵 金 63圓50錢 2圓50錢下げ

神戸 金 63圓 "

(ハ) 締切 11月28日

線材外注値段

	Nov. ship't
Cif. price	\$ 26.50
Exch. @ 49 3/8%	¥ 53.67
Interest 1.5%	.81
Landing	1.20
Duty 18%	9.06
	¥ 65.34
	(Per ton of 1,015 Kgs)
	¥ 64.37
	(Per ton of 1,000 Kgs)

中型山形定期契約—12月渡の締切

中型山形鋼の定期契約が成立しての第1回即ち12月渡は20日に締切つたが其申込は次表の通りである。

其内安宅商會の分は責任數量の1割増を越えると云ふので規約に基いて關門場の分35噸を減じて165噸とし結局引受總數量 5,562 噸とした程嚴格なものであつた。猶三菱商事から指定寸法にない厚みの申込みもあつたが安宅の分を否定したと同様統制を亂ると云ふ理由の下に指定寸法に改めた。又細目に就て協議の結果次の通り決定した。

中型山形定期契約細目

- 1、各社の責任數量は先物賣及隨時賣の2種に別ちて是れを充當することを得。
- 2、先物賣は毎月製鐵所先物協議會直後組合に於て値段を發表し指定締切日迄に寸法書を提出するものとす隨時賣は先物賣の外隨時引合に應ずるものにして其

賣約數量は翌月分の責任數量として充當するものとす。

3、先物として申込み得べき寸法は組合の指定寸法に限るものとす。

指定外寸法に付ては隨時引合として取扱ふ。

長さは 25 呎以上 40 呎以下の亂尺とす、但申込み數量の半數に限り 25、30、33、36、40 呎の定

尺にて申込み得るものとす尙是れ以外に

特に切揃を要求する場合はエキストラとして 2 圓を徴收す。

4、隨時賣に適用する値段次の如し

(イ) 一般市販品にありては指定寸法及指定寸法共最近發表先物賣値段の 2 圓増とし切揃への場合はエキストラとして更に 2 圓を加算するものとす。

(ロ) 造船材料、規格品其他市販品にあらざる引合品は其都度協議の上取極むるものとす。

5、代金の支拂方法は従來通りとし次記に據る

(イ) 1 日より 10 日迄に積出したるものは其月の 20 日拂

(ロ) 11 日より 20 日迄に積出したるものは其月末拂

(ハ) 21 日より月末迄に積出したるものは翌月 10 日拂

薄鉄共販組合理事會—12 月積賣出し

月日場所 11 月 25 日東京丸ノ内會館
出席者 川崎、中山、徳山、日鋼、製鐵及 4 社
主なる議事、12 月積薄鉄及厚物賣出に關する件

理事会に入る前 4 社側より次記文書の提出があつた。

次記 12 月積薄鉄共販組合賣出に就て

業界混沌として歸趨を豫測し難き現状なれば 12 月積賣出に對して希望條件 値段等を明示する事至難なる立場に在り

英鉄 12 月入荷並に同月積出の採算相場は別紙の通りにつき参考迄に貴覽に供し貴會に善處せられ人事を切望す

British Black Sheets

Quotation of December arrival

3' x 6' x 80s		Corrugated sheets 6', 7' & 8'	
C. I. F.	£ 10-10-0d	£ 10-5-0d	
Ex 2/6d	¥ 84.00	¥ 82.00	
Interest 1.2%	1.01	98	
Duty	32.22	32.22	
Landing charge	1.30	1.30	
Per 280 s	118.53	116.50	
Per sheet s	0.4233	0.3348	Per 1s
Per 268 s	113.44	0.4017	"
		0.4481	"
		6'-325 s	¥ 108.81 Per 1,000kgs
		7'-276 s	110.87
		8'-246 s	110.23
		Average	109.97
		Including commission	111.62

British Black Sheets

Quotation of December Shipment

3' x 6' 280 s		Corrugated sheets 6', 7' & 8'	
C. I. F.	£ 10-9-6d	£ 10-4-6d	
Ex @ 2/6 3/4	¥ 81.75	¥ 79.80	
Interest 1.4%	1.14	1.12	
Duty	32.22	32.22	
Landing charge	1.30	1.30	
Per 280 s	116.41	114.44	
Per sheet s	0.4153	0.3289	328s— 106.89
		6'-348s	0.3946 276s— 108.91
		7'-290s	0.4102 246s— 108.29
		8'-260s	Average 108.03
		Including commission	109.65

中型山形鋼定期契約 12 月積申込高

申込者	(責任數量) + 10 % 差支なし	三菱	岩井	安宅	岸本	岡谷	伊藤(信)	伊藤(宗)	總計
		(4,800) 噸	(250) 噸	(150) 噸	(100) 噸	(550) 噸	(100) 噸	(50) 噸	(6,000) 噸
京濱場	等邊	1,935	32	—	70	440	47	50	2,574
	不等邊	105	—	—	30	60	5	—	200
阪神場	等邊	1,769	143	100	—	100	—	—	2,112
	不等邊	431	—	—	—	—	—	—	431
伊勢灣	等邊	80	—	—	—	—	47	—	127
	不等邊	—	—	—	—	—	3,272	—	3,272
關門場	等邊	—	50	100	—	—	—	—	150
	不等邊	—	—	—	—	—	—	—	—
總計	等邊	3,784	225	200	70	540	94	50	4,963
	不等邊	536	—	—	30	60	8,272	—	634,272
	計	4,320	225	200	100	600	102,272	50	5,597,272

3' x 6' x 280 s		Corrugated sheets 6', 7' & 8'	
C. I. F.	£ 10-9-6d	£ 10-4-6d	
Ex @ 2/7%	¥ 78.87	¥ 76.99	
Interest 1.4%	1.10	1.08	
Duty	32.22	32.22	
Landing charge	1.30	1.30	
Per 280 s	113.49	111.59	
Per 268 s	108.62		
Including commission	110.25		
		Average	105.33
		Including commission	108.91
		Ex @ 2/3 1/4	Ex @ 2/7%
G # 18 x 3' x 6' - 3 s	£ 8-19-3d	¥ 94.45	¥ 92.00
20 x x - 4 s	"	94.45	99.00
22 x x - 5 s	9-4-3d	96.36	93.83
G # 24 x 3' x 6' - 6 s	£ 9-4-3d	¥ 105.74	¥ 103.20
25 x x - 7 s	9-14-3d	109.64	106.96
26 x x - 8 s	"	109.64	106.96
27 x x - 9 s	"	109.64	106.96
G # 28 x 3' x 6' - 10 s	£ 9-19-3d	¥ 111.58	¥ 110.25
29 x x - 11 s	10-9-3d	115.48	112.53
30 x x - 12 s	10-19-3d	119.27	116.36
	Ton of 1,000 kgs.		
	Interest 1.4%		
	Landing charge ¥ 1.30		
	No commission		

次記

賣出條件

(イ) 輸出向は賣出を見合す

(ロ) 内地向値段 (川崎標準)

13 枚物	115圓	(浪原 2.50)	9 圓
12 枚物	113"	(錢開き)	7 圓下げ
11 枚物	112"		6 "
10 枚物	111"		5 "
9 枚物	111"		4 "
8 枚物	110"		4 "
7 枚物	110"		2 "
6 枚物	107"		3 "
5 枚物	98"		2 "
4 枚物	96"		1 "
3 枚物	91"		据置

格差從來通り

猶今回製鐵所 10 枚物(格差 3 圓)にて賣出す

(ハ) 數量、發表せず申込により決定

(ニ) 締切と發表、27 日締切 28 日大阪にて發表

厚板共販理事會 - 12 月積締切

月日場所 11 月 27 日於製鐵所東京出張所

出席者 川崎、淺野、東海及製鐵

○主なる議事 12 月積耳付鋼板締切の件

25 日に締切つた耳付鋼板の成績は次の通りである

東京揚 1,455 大阪揚 1,488 計 2,943

10 月積 1,600 噸、11 月積の 1,800 噸に比すれば稍見るべきものはあるが未だ到底常態とは見られない然し此外に 10 月 21 日より 11 月 21 日に到る 1 箇月の引合中耳付、切板、定尺として約 3,817 噸だけ決定した。

ブラツセル齋藤囑託通信

11 月 20 日入電 市場稍好調、支那からの重要な商談が締結されたと噂されてゐるが一般の状態では市場は閑散で相場は大體次の通りらしい(金スターリング)

棒 鋼 大型山形	中小型山形	工形(B.S.)	鋼 板 (3/16")
2-19-0	2-19-0	3-0-0	2-19-0 8 弗 42 仙

市場の意見は英國經濟状態に起因して不安定である。

11 月 28 日入電 市場軟弱にして好轉の見込なし。

棒 鋼 大型山形	中小型山形	工形(B.S.)	板 鋼 (3/16")
2-17-0	2-16-0	2-17-0	2-19-0 8 弗 42 仙

東西市況 - 不安

暮まで残す處 1 箇月、平常の年でも何となく追はれる感を懐く頃なのに本年はまして好ましからぬ材料の堆積に何處を向いても青息吐息。今旬などは來動に入りながらも市場は閑散其ものと云はれ、特に種々な原因から近來急に金融が逼迫して來てそれが爲め仲間取引も益々窮窟となり、搦て加へて神田邊りの店が 1、2 軒潰れたと云ふことが警戒氣分を一層濃厚にせしめた、また地方と

10 月の理事會にも「混沌として歸趨を豫測し得ない」と云ふ提言もあつたが、今月再びそれを繰り返される程深刻となつた。

即ち此文章を補足した説明によれば 黒鉄は元來大陸物が標準であつたが英國の金本位制停止以來逐次 英國物の代り原價の變動移しいのに加ふるに爲替の激變に遇ひ市場も甚だしく不安なる爲め投機的機會を狙ふ 氣分横溢する状態なるを以て幾何の注文を獲得し得るやの 自信もなき折柄なれば共販に於ても其點を考慮して 値段を決定せられたし。

輸出向を先月賣出さなかつたがシヤム、ジャバ等 排日の手薄の處へ月 1,000 噸位は出る故考慮せられたし。

内地賣値段は 12 月入荷物を考慮し輸出向に對抗する意味より 114 圓位とせられたし。

以上の希望條件を得て後理事會に移り、内地向値段に就ては買手提出の外注値段は買手の言ふ如く 想像に留り此値段は恐らく最悪の最低にて爲替も殆んど最好條件にて斯るものは 12 月入荷中大した數量もなかるべく此點よりすれば相當高値に決定し得るも、購買力の刺戟及び 3、4 月の交の思惑を抑制する事も考へ次記の通り 9 圓下げと決定した。

輸出向に就ては現在の状態にては未だ賣出すべき 必要を認めずと云ふことに意見の一致を見て再び賣出せざることとした。

しては東北方面の經濟界が稍亂調子との事も耳にして愈々眉に火の付いた感を持つて來たと云はれて居る。

一方外法値段は別項「ブラツセル通信」にもある通り軟弱を報ずる等四面楚歌の聲に満ちて居る。

東京市況

丸鋼 6mm は未だ品薄で小堅いが伸鐵も暇になつて6圓60錢で賣應するので先行は期待出來ないと見られて居る、9mm は15'、25' など手持薄で5圓90錢搦みを稱へては居るが全般としては小甘い商狀と云はれ、12mm は5圓60錢位の伸鐵物の入荷と製鋼會社の荷捌きの相當順調なのと相俟つて軟調を告げ、ベースもの一向に恵まれず賣行の極度に不振なのに連れてナリ安の一途を辿つて居る、中丸以上は75mm が特に品稀薄で6圓3、50錢と強調なのを別としても總體に小戻りを傳へられて居る。

角、平鋼 角、平共凡調を續け細々ながら生命を保つて居る状態と云はれて居る。

型鋼 全般から云へば棒鋼に比べては品薄の爲め堅調を續けて居ると見られ特に中型山形は鋼管會社のロールが當面の實需に追はれて居る爲め市場が枯渴して一段と強調を告げたと云はれて居る、小型山形は入荷に連れて漸落し、 $\frac{3}{8} \times \frac{3}{4}$ 7圓50錢、 $\frac{1}{2} \times 1$ 、 $1\frac{1}{4}$ 、 $1\frac{1}{2}$ が7圓20錢搦み $\frac{3}{8}$ 厚及び $\frac{1}{4}$ 厚6圓20錢見當と稱へられて居る、大型等山、及當所分野不等山は値は出ぬがあまり手持は無い様に眺められ、共通分野中 3×4 は中型山形の強調に連れ戻り只 $3\frac{1}{2} \times 5$ は當所物の豊富の爲め伸び悩みと見られて居る、可笑しな事は同じ保合と云ふ言葉も硬軟によつて傾向は異ふと云ふと變な云ひ廻しであるが溝形などは「保合ですわい」と云ひながら5錢10錢と上向いて居るが丸鋼なぞの様に空氣の悪いものは保合と云ひながら何時の間にか値段が下つて居る、其意味から溝型は未だ堅調と見られ工形はこれと云ふて取り立て、云ふ程の事もなく全く凡調である。

鋼板 1'6 は最近小倉石油の見積りが7圓95錢とか云はれる程軟調であるこれは一面需要季節を過ぎたのも其原因に數へられて居る、2'3 の 4×8 は未だ拂底ではあるが消化數量が誠に微々たるものであるから大した期待も繋がれて居らぬ、3'2 は大した入荷もないが不相變軟調を告げ6'0 を下廻つて居る、4'5 は3'2 よりは稍よく7圓10錢搦みと言はれ、6'0 益々品掠れに、7圓10錢をカツチリと保つて居る、9'0 以上も堅調。

大阪市況

丸鋼 細丸は比較的品薄なれ共これは伸鐵物で補足されてゐる。ベース物の需給範圍は昨今非常に狭くなつ

た感がある、即ち鐵筋用ベースもの、受註はメーカーと實需筋との間に直接行はれ従つて問屋の影が淡くなつたやうにも見られ市場は賣氣分横溢の態にて相場も不冴。中丸のシャフト用としての註文が非常に少なくなつたので一時當所積遅れによる不自然な現象も昨今はなくなつたと云はれ軟調を辿つてゐる。太丸は市中品掠れにて就中5'、5 $\frac{1}{2}$ '、6'、8'、等は7圓50錢と異常な活況を呈してゐる。要之商内は閑で且つ單調なる市況を繰返してゐる昨今では折角デツチ上げた商賣の經驗も餘り役には立たぬと云はれてゐる。

冬枯れて馬鹿も利口もなかりけり

角、平鋼 角鋼細物は伸鐵物に押されて伸びず、1吋以上2吋は弗々引合もあり従つて相場も5圓90錢—6圓と小堅い。太物は最近臺灣方面及び大連へ相當積出されたと云はれてゐるが市中では一向荷動きなく不味沈靜の域を脱せず。平鋼は當所積遅れにて品薄であつたが最近弗々入荷あり茲許一服の態と云はれてゐる。

型鋼 小型山形鋼は在庫豊富ならざるも小口當用買弗々散見せられる程度にて凡調。中型山形鋼は日用品の事として少量ながら荷動きあり先づ他のものに比較して良好と云はれ50mm 6圓20錢 65mm 75mm は6圓10錢と光つてゐる。大型不變。溝形鋼 3×6 品掠れにて7圓を唱へられ其他のものは先安も織り込まれて賣焦り氣味である工形鋼は用途が狭い關係から賣行も捗々しからず。

鋼板 一中板は最近市中66圓の賣物現はれたとの事にて下げ足急となり目下68圓搦みを唱へられてゐる二中板は不相變手當薄にてカツチリしてゐる。厚板は前報と不變。

線材 需要不振にて續落の態にありし我線材界も共販發表値段63圓の報を入れて賣手影をひそめ先般來1圓方引締りの状態である。

鐵力板 午前中は弗々引合はあるがこれもただ値段をきたへる程度で註文は一向ない。そして午後は全くひつそり閑としてゐる。最近英國 I. C. W. が12圓見當に取引されてゐる様子にて自然正品級はこれに押され勝と云はれてゐる。

通知

第9回受渡會議に於て八幡4社提案第7項「新注作文品期限遅れの事」は11月10日八幡木曜會にて協議の結果次記の通り決定

記 1、一般に全部に涉り製作完了せざるものを通知する事は困難なれ共必要なるものに對し照會あれば迅速丁寧回答可致

線材、薄板、鋳力板輸入速報

品名	區分	11月上旬				11月中旬				11月下旬			
		神戸 自10月29日 至11月8日	大阪 " " " " " "	横濱 自10月28日 至11月6日	合計	神戸 自11月9日 至11月18日	大阪 " " " " " "	横濱 自11月7日 至11月17日	合計	神戸 自11月19日 至11月27日	大阪 " " " " " "	横濱 自11月18日 至11月27日	合計
線材	B.W.G.No.5	815	154	539	1,508	394	100	536	1,030	207	—	416	623
	其他	250	101	70	421	255	—	271	526	429	100	11	540
	其計	1,065	255	609	1,929	649	100	807	1,556	636	100	427	1,163
	上中下計	—	—	—	—	1,714	355	1,416	3,485	2,350	455	1,843	4,648
薄板	0.7mm以下	309	266	379	954	—	488	562	1,050	3	173	81	257
鋳力板	上中下計	429	467	1,186	2,082	309	754	941	2,004	312	927	1,022	2,261
	上中下計	—	—	—	—	752	541	2,792	4,085	874	566	3,035	4,475

東京大阪市中相場

(單位圓)

寸法	11月上旬		11月中旬		11月下旬	
	東京 11月 7日	大阪 11月 5日	東京 11月 17日	大阪 11月 15日	東京 11月 28日	大阪 11月 25日
丸鋼						
6mm	7.00	7.00	7.00	7.20	7.00	7.00
9	5.85	6.10	5.80	6.00	5.75	6.00
12	5.80	6.00	5.75	5.95	"	5.90
19	5.65	5.95	5.60	5.90	5.55	5.85
25	"	"	"	"	"	"
50	5.80	6.20	5.80	6.30	5.80	6.20
65	5.95	"	5.95	6.20	5.95	"
角鋼						
9mm	6.40	6.20	6.40	6.20	6.30	6.10
12	5.80	6.00	5.80	5.90	5.80	5.90
15	5.70	5.90	5.70	5.85	5.70	"
19	"	6.00	"	5.90	"	5.85
38	"	6.15	"	6.30	"	6.10
平鋼						
1/4" x 1 1/2"	5.65	6.00	5.65	5.90	5.60	6.00
1/4" x 2	"	"	5.60	5.95	"	"
1/4" x 3	5.70	6.20	5.70	6.00	5.70	"
3/8" x 4	5.80	"	5.80	"	5.75	"
1/2" x 4	"	"	"	"	"	"
等邊山形鋼						
mm mm mm						
6 x 50 x 50	5.75	6.10	5.80	6.40	6.00	6.20
6 x 65 x 65	5.80	"	6.10	6.20	6.20	6.10
9 x 75 x 75	5.75	6.00	5.90	"	6.00	6.20
9 x 130 x 130	6.15	6.20	6.15	"	6.10	"
12 x 130 x 130	6.20	"	6.20	6.30	6.20	"
15 x 150 x 150	6.30	"	"	"	"	"
不等邊山形鋼						
3/8" x 2" x 3"	6.10	6.30	6.10	6.40	6.10	6.30
3/8" x 3 x 4	5.75	6.20	5.90	"	6.00	"
3/8" x 3 1/2 x 5	"	6.10	5.80	6.20	5.80	6.10
3/8" x 4 x 6	6.10	6.20	6.10	"	6.10	"
1/2" x 4 x 6	6.20	"	6.20	6.40	6.20	"

寸法	11月上旬		11月中旬		11月下旬	
	東京 11月 7日	大阪 11月 5日	東京 11月 17日	大阪 11月 15日	東京 11月 23日	大阪 11月 25日
溝形鋼						
1/4" x 2" x 4"	6.55	6.50	6.55	6.50	6.55	6.00
0.312 x 2 1/2 x 5	6.65	6.80	6.65	7.00	6.60	6.80
3/8" x 3 x 6	6.70	6.90	6.90	7.20	6.90	7.00
3/8" x 3 x 8	6.20	6.50	6.20	6.50	6.20	6.20
3/8" x 3 1/2 x 10	6.80	7.00	6.70	7.00	6.80	7.00
3/8" x 3 1/2 x 12	6.60	"	6.60	7.20	"	"
工形鋼						
1/4" x 3" x 6"	6.10	6.20	6.10	6.40	6.00	6.20
3/8" x 6 x 12	6.15	"	6.20	"	6.15	"
0.28 x 4 x 8	6.10	6.19	6.10	6.30	6.10	6.30
0.35 x 5 x 12	6.25	6.80	6.25	6.80	6.20	7.00
0.36 x 5 x 10	6.20	7.00	6.20	7.00	6.10	7.30
鋼板						
1.6mm x 3' x 6'	8.20	8.30	8.15	8.10	8.10	8.00
1.6 x 4 x 8	8.25	8.20	"	8.00	8.05	"
3.2 x 4 x 8	7.10	7.00	7.05	7.00	7.00	6.90
3.2 x 5 x 10	"	"	"	"	"	7.00
6.0 x 4 x 8	"	6.80	7.10	6.90	7.10	6.90
6.0 x 5 x 10	"	6.90	"	"	"	"
9.0 x 4 x 8	6.70	"	6.70	6.80	6.80	6.80
9.0 x 5 x 10	6.60	"	6.60	"	"	"
薄鋼板(13枚)						
米	47	46	45	46	44	45
英	46	45.5	44.5	45	43.5	43
八	47	45.5	44.5	45	43.5	43
鋳力板						
米	{170lbs 100	15.50 8.80	15.50 8.30	15.50 8.70	15.00 7.30	15.50 8.60
英	{170 100	14.00 8.00	14.50 8.00	14.00 7.70	13.20 7.30	14.00 7.60
八	{170 100	14.00 8.00	14.70 8.20	14.00 7.70	13.50 7.90	14.00 7.60
線材						
No. 5		68.00	64.00	63.00	63.00	62.50

備考 單位 100kg につき(置場値段)、但し薄板は1枚當り。線材は1疋當り。鋳力板は1箱當り。

昭和6年10月中棒鋼寸法別揚地別引渡高表

(單位噸)

丸 鋼										角 鋼												
寸法	民間向普通鋼				合計	規格品及特殊鋼				合計	寸法	民間向普通鋼				合計	規格品及特殊鋼				合計	
	阪神揚	京濱揚	其他	計		阪神揚	京濱揚	其他	計			阪神揚	京濱揚	其他	計		阪神揚	京濱揚	其他	計		
6mm	—	—	1	1	—	—	—	—	—	1	14mm	—	—	1	1	—	—	—	—	—	1	
9	1,367	2,845	329	4,534	—	—	—	—	—	4,534	16	—	5	5	—	—	—	—	—	—	5	
9.5	—	—	5	5	—	—	—	—	—	5	19	25	5	14	44	—	—	—	—	—	44	
10	4	—	—	4	—	—	—	—	—	4	22	7	10	8	25	—	—	—	—	—	25	
12	114	—	85	199	—	—	—	—	—	199	25	37	20	8	65	—	—	—	—	—	65	
13	—	—	2	2	—	—	—	1	1	3	28	26	5	5	36	—	—	—	—	—	36	
14	—	—	—	—	—	—	10	—	10	10	32	1	—	—	1	—	—	—	—	—	1	
15	—	—	5	5	—	—	—	—	—	5	36	1	—	—	1	—	—	—	—	—	1	
16	—	—	121	121	—	—	—	—	—	121	38	15	8	1	24	—	—	—	—	—	24	
19	—	—	34	34	—	—	—	—	—	34	44	27	15	6	48	—	—	—	—	—	48	
21	—	2	—	2	—	—	—	—	—	2	50	20	1	7	28	—	—	—	—	—	28	
22	—	—	10	10	—	—	—	3	3	13	55	10	—	5	15	—	—	—	—	—	15	
23	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	65	30	6	7	43	—	—	—	—	—	43	
25	—	—	10	10	—	—	—	—	—	10	75	62	2	5	69	1	—	14	15	—	84	
26	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	80	10	—	—	10	—	—	—	—	—	10	
28	—	—	42	42	—	—	—	13	13	55	90	42	—	5	47	—	—	—	—	—	47	
29	—	—	—	—	—	—	—	13	13	13	95	2	—	—	2	—	—	—	—	—	2	
32	—	—	16	26	—	—	—	10	10	36	100	29	7	42	78	—	—	—	—	—	78	
35	—	—	14	14	—	—	—	—	—	14	120	—	—	12	12	—	—	—	—	—	12	
38	—	—	15	15	—	—	—	—	—	15	150	—	—	2	2	—	—	—	—	—	2	
40	—	—	3	3	—	—	—	—	—	3	角鋼計	344	84	128	556	1	—	14	15	—	571	
42	—	—	7	7	—	—	—	—	—	7												
44	—	—	26	26	—	—	—	—	—	26												
45	—	—	2	2	—	—	—	—	—	2	19mm	74	179	53	306	—	—	—	—	—	306	
46	—	—	3	3	—	—	—	—	—	3	22	202	366	70	638	—	—	—	—	—	638	
50	11	16	72	99	—	—	—	—	—	99	25	155	142	56	353	—	—	—	—	—	353	
55	143	43	48	239	—	—	—	—	—	239	30	12	—	—	12	—	—	—	—	—	12	
60	55	26	—	81	—	2	—	2	83	83	32	41	110	31	182	—	—	—	—	—	182	
65	114	42	51	207	—	2	—	2	209	209	38	88	—	1	89	—	—	—	—	—	89	
70	81	67	5	153	—	—	—	—	153	153	44	45	—	—	45	—	—	—	—	—	45	
75	179	63	25	267	—	—	—	—	267	267	50	97	—	24	121	—	—	—	—	—	121	
80	112	33	12	157	—	—	—	—	157	157	55	15	—	—	15	—	—	—	—	—	15	
90	129	17	11	157	—	—	—	—	157	157	60	—	1	5	6	—	—	—	—	—	6	
95	25	10	8	43	—	—	—	—	43	43	65	3	—	24	27	—	—	—	—	—	27	
100	59	35	13	107	14	—	—	14	121	121	70	6	—	—	6	—	—	—	—	—	6	
115	10	—	—	10	—	—	—	—	10	10	75	128	35	31	194	—	—	—	—	—	194	
120	—	17	1	18	—	—	—	—	19	19	80	13	—	—	13	—	—	—	—	—	13	
125	—	—	358	358	—	—	—	—	358	358	90	186	15	6	207	—	—	—	—	—	207	
150	—	65	—	65	—	—	—	—	65	65	100	56	21	6	83	—	—	—	—	—	83	
200	—	3	—	3	—	—	—	—	3	3	108	1	—	—	1	—	—	—	—	—	1	
											115	1	—	—	1	—	—	—	—	—	1	
											120	1	—	—	1	—	—	—	—	—	1	
											125	10	—	4	14	—	—	—	—	—	14	
											平鋼計	1,134	869	311	2,314	—	—	—	—	—	—	2,314
											棒鋼總計	3,879	4,237	1,783	9,899	15	14	57	—	—	—	86,985

丸鋼計 2,401 3,284 1,344 7,029 14 14 43 71 7,100

昭和6年10月當所製品揚地別發送高表 (單位噸)

揚地別	品名	鋼 材				鋼片及鋼塊	副製品	合計	揚地別	品名	鋼 材			鋼片及鋼塊	副製品	合計
		官廳	民間	計	官廳						民間	計				
內地 當所 京濱 阪神 伊勢 東海 山陰 北陸 內海 沿岸 奧羽 關門 九州 樺太	渡	99	8,105	8,204	4,211	22,524	34,939	朝鮮	地方	212	—	212	—	—	212	
	地方	540	21,853	22,393	186	204	22,783	臺灣	地方	272	811	1,083	—	—	1,083	
	地方	80	22,920	23,000	1,309	151	24,460	其他	計	—	—	—	—	—	—	
	地方	8	2,338	2,346	—	39	2,385	計	2,933	57,793	60,726	9,224	27,201	97,151		
	地方	19	173	192	—	—	192	輸出	地方	—	850	850	—	—	850	
	地方	848	41	889	2,721	1,226	4,836	滿支	地方	—	277	277	—	—	277	
	地方	10	—	10	—	—	10	其他	計	—	1,127	1,127	—	—	1,127	
	地方	845	1,491	2,336	797	3,057	6,190	合計	2,933	58,920	61,853	9,224	27,201	98,278		
	地方	—	61	61	—	—	61									

昭和6年9月中國別輸入數量表

(單位噸)

品 種	英	佛	獨	白	埃	和	典	合	關	印	其他	計	本年度 累 計
條及 竿鐵 (丸、角、平形にして 徑又は幅 15mmを 超えざるもの)	12	36	718	374	10	10	53	22	—	—	5	1,240	5,936
〃 (丸、角、平の もの其他)	105	21	938	86	93	145	15	33	—	—	1	1,437	9,326
〃 (テ アングル)	—	10	130	174	—	—	—	—	—	—	—	314	1,442
〃 (其 他)	—	2	531	12	—	—	—	—	—	—	59	604	10,944
レ —	—	—	180	—	—	—	—	494	—	—	—	674	3,848
フィッシュ、プレート	—	—	6	—	—	—	—	3	—	—	—	9	190
ワイヤ ド (巻きたるものに して径 5mmを 超えざるもの)	—	—	103	—	—	—	—	—	—	—	—	103	103
〃 (巻 きたる もの其他)	50	516	2,274	281	43	—	63	1,101	—	—	37	4,365	50,050
鐵 板 (金屬を鍍せざるものに して厚 0.7mmを超え ざる建築鋼板)	1	—	146	—	10	—	17	106	—	—	—	280	1,688
〃 (金屬を鍍せざるものに して厚 0.7mmを超え ざる其他)	1,190	—	224	—	—	—	—	32	—	—	—	1,446	10,345
〃 (金屬を鍍せざるものに して厚 3mmを超えざ るもの)	74	—	195	—	28	—	44	115	—	—	—	456	3,490
〃 (金屬を鍍せざ るもの其他)	30	432	258	194	4	—	14	42	—	—	—	974	3,539
〃 (錫鍍したるも の)(葉鐵及葉鋼)	2,612	—	1,363	—	—	174	—	1,512	—	—	—	5,661	33,981
〃 (亞鉛鍍したるもの)	—	—	—	—	—	—	—	52	—	—	16	68	918
〃 (其他卑金屬を 鍍したるもの)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	145
鐵 線	19	1	1,323	8	1	—	10	105	4	—	—	1,471	5,710
リ ード・ワイヤ	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2	8
鐵 リ ホ ン	53	51	174	67	49	—	46	20	—	—	195	655	3,970
帶 (箍 鐵)	50	365	1,086	1,156	—	—	—	50	—	—	214	2,921	25,349
バラゴン・ワイヤ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	132
線 索	16	—	9	—	—	—	—	3	—	—	—	28	288
撚 合 線	—	—	—	—	—	—	—	13	—	—	—	13	34
バ ー ブ ド・ツ ウ イ ス ト・ワ イ ヤ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鐵 筒 及 管	94	—	340	—	—	—	6	728	—	—	92	1,260	7,751
特 殊 鋼 (稅表一)	11	—	19	—	78	—	30	—	4	—	22	164	1,130
〃 (稅表二)	9	1	1	—	15	—	5	—	—	—	—	31	1,193
鐵 車 道 輪 車 輛 用 軸	—	—	—	—	—	—	—	8	—	—	—	8	108
鐵 車 道 車 輛 用 タイヤ	—	—	46	66	—	—	—	—	—	—	—	112	273
鐵 車 道 車 輛 用 ス ブ リ ン グ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	4,326	1,436	10,064	2,418	331	329	303	4,439	8	—	642	24,296	181,891
フ ェ ロ ・ マ ン ガ ニ ー ス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	913
フ ェ ロ シ ル コ ン 及 シ リ コ ン ス ピ ー ゲ ル ア イ ゼ ン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	51
其 他 の 不 可 鍛 成 鐵 合 金	—	1	2	—	—	—	23	—	—	—	—	26	178
シ ー ト バ ー (テ イ ン バ ー を 含 む)	—	—	3,089	—	—	—	—	—	—	—	—	3,089	15,502
イ ン ゴ ツ ト ・ プ ル ー ム ・ ビ レ ツ ト 及 ス ラ ツ プ	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	3	1,268
ケ ツ グ ス チ ー ル 及 バ ン プ ス チ ー ル	—	—	—	—	—	—	59	—	—	—	—	59	179
其 他 の 塊 及 錠 鐵	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11
合 計	—	1	3,091	—	—	—	85	—	—	—	1	3,178	18,102
銑 屑 及 故 鐵	254	—	—	—	—	—	—	110	9,610	16,085	10,710	36,769	278,595
	3,920	—	—	1,598	—	1,717	—	5,833	516	12,346	3,508	29,488	193,722

昭和6年10月中 神戸、大阪、横濱三港輸入鋼材品種寸法別數量表 (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
棒鋼の部		角鋼		型鋼の部		計 425		170 sheets 479		3/8 5		5/8 23	
丸	鋼	3/16"	5	等邊山形鋼		型鋼計	908	40	3	3/4	51	1	71
3/16"	64	3/8"	14	3/4"	21	條鋼計	2,468	50	5	1 1/4	19	1 1/2	10
1/4"	66	1/2"	13	1"	10	鋼板の部		60	20	1 3/4	1	2	30
5/16"	50	5/8"	7	1 1/4"	10	鋼板(0.7mm超)		70	3	2 1/2	4	3	9
1/2"	2	3/4"	6	計	44	1/2"	15	80	3	3	27	4	10
5/8"	26	7/8"	5	造船材料		3/8"	26	90	6	5	10	6	2
7/8"	35	1"	3	75mm	10	1/4"	116	100	7	8	7	8	7
1"	17	1 1/8"	1	90	7	3/16"	140	Mixed Oil size	3,235	10	10	10	10
1 1/8"	20	1 1/4"	6	130	12	1/2"	21	others	1,474	10	270	10	7
1 1/4"	23	1 1/2"	9	150	17	5/8"	5	計	5,718	10	7	10	7
1 3/4"	18	2"	3	160	5	1mm	87	鋼板計	9,518	其他	270	10	7
1"	21	2 1/2"	2	計	51	1 1/4"	31	軌條及附屬品の部		Pipe fitting	7	鋼管計	567
1 1/8"	4	3 1/2"	2	等邊山形計	95	1 3/4"	3	軌		條		其他鋼材の部	
1 1/4"	18	12mm	6	不等邊山形鋼 (造船材料)		2	7	lbs				特殊鋼	254
1 3/8"	1	16	4	mm mm	3	2 1/2"	1	92	587			丸鋼	34
1 1/2"	10	19	5	150x90	1	3	15	102	162			鋼鋼板	54
1 3/4"	16	22	4	160x80	1	11	25	105	44			其他	85
1 3/4"	10	25	4	計	4	13	34	108	1			其他	10
1 7/8"	8	32	4	溝形鋼		13 1/2"	3	其他	23			計	437
2"	18	40	14	3 3/4" x 2"	10	14	3	計	817			外輪	
2 1/4"	10	計	119	計	10	14 1/2"	1	繼目板				車軸	127
2 1/2"	25	平	鋼	造船材料		15 1/2"	1	lbs用				計	42
2 3/8"	16	3/8"	15	12" x 4"	6	16	6	105	2			其他鋼材計	606
2 3/4"	9	1/2"	38	12 x 4 1/4"	9	17	1	其他	75			鋼材合計	19,286
3"	12	5/8"	54	計	15	18	11	計	77			シート	3,041
3 1/4"	2	3/4"	62	溝形鋼計	25	20	10	線材の部				パイプ	
3 1/2"	9	7/8"	43	球山形鋼 (造船材料)		20	10	5mm	1,101			ピレット	309
3 3/4"	4	1"	62	mm mm		24	2	5.15	202			ブルーム	22
4"	6	1 1/16"	3	150x75	14	26	72	5.58	252			フェロクロム其他	100
4 1/4"	54	1 1/4"	35	165x75	3	27	5	7	80			ケツグ	39
4 1/2"	78	1 1/2"	10	180x75	37	28	215	8	10			ステール	
4 3/4"	5	1 3/4"	29	180x90	3	29	1	7/16"	1				
5"	45	2"	7	200x75	7	30	1,515	B.W.G.No					
5 1/2"	1	2 1/4"	11	200x90	121	30 1/2"	911	8	152				
6"	14	2 1/2"	19	230x90	52	31	15	5	3,220				
6 1/2"	3	3"	12	250x90	2	32	2	3	10				
9	2	3 1/2"	11	計	60	其他	99	2	50				
10	3	4"	6	工形鋼		計	2,837	2	2				
5mm	2	4 1/2"	34	10" x 5"	60	電氣鐵板		3	2				
6	21	5"	25	計	60	0.014"	326	3	2				
9.5	7	6"	2	球山形鋼 (造船材料)		0.02	5	2	50				
19	1	8.75mm	2	mm mm		0.025	15	2	10				
25.5	14	57	1	150x75	14	0.5mm	30	2	102				
25.4	1	66.08	1	165x75	3	0.35	15	2					
28	3	計	574	180x75	37	0.6	10	2					
32	11	六角鋼		180x90	3	計	401	2					
34	3	計	1	200x75	7	鐵力板		2					
38	5	八角鋼		200x90	121	lbs	451	2					
44	5	計	17	230x90	52	鋼管の部		2					
76	5	計	1,560	250x90	2	鋼管		2					
計	803	棒鋼計		計	239	丁形鋼		2					
造船材料		六角鋼		1 1/2" x 1 1/2"	15	1 1/2" x 2 1/2"	3	2					
2 5/8"	46	八角鋼		3 x 3	10	3 x 3	32	2					
計	46	計		4 x 3	32	計	60	2					
丸鋼計	849	計		計	60	パイピングシート		2					

昭和6年10月中當所品種寸法別生産高 (其ノ一) (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
棒鋼の部		90	2	6'×2½''	75	4.5	108	縞鋼板		附屬品	
丸鋼		125	6	6×3	149	5	14	3.2mm	6	目板 9K用	48
5.5mm		3½''	101	7×3	143	5.5	11	4.5	160	10	45
9		計	4,724	7×3½	23	6	87	5	30	スパイキ	27
10		スケルプ		8×3	98	7	117	6	166	トラックボ-	14
11		90mm	881	計	1,675	7.5	5	8	25	ルトナット	14
12		112	188	工形鋼		8	104	9	14	計	134
14		計	1,069	mm mm		9	17	計	401	軌附計 9,359	
16		火床用平鋼		15'×75	72	10	780	耳付縞板		線釘材の部	
17		mm mm × m		300×150	2,102	12	109	4.5mm	33	線材	
18		10×40×70	4	200×7½''	1,603	13	15	6	62	5.5mm	5,544
22		計	13	計	3,777	14	42	8	24	計	5,544
23		帯鋼		乙形鋼		15	15	9	45	製釘材	
23		mm mm × m		mm mm mm		16	125	計	164	5.5mm	4,265
30		13×50×90	9	130×70×60	19	18	64	ユニバーサル平鋼		計 4,265	
36		10×40×70	4	150×75×65	25	19	50	130oz	423	線釘計 9,809	
38		計	3	計	44	20	40	144	339	其他の部	
40		型鋼の部		シートパイリング		22	4	20mm	12	鍛成品	
42		mm × mm		mm mm		25	157	計	774	坩鋼	21
48		16×68	5	400×100	162	28	48	電氣鐵板		坩鋼	41
50		14×82	5	計	162	40	2	0.35mm	41	電氣爐鋼	14
55		16×82	10	型鋼計 10,850		50	21	0.43	2	普通鋼	76
60		17×100	8	條鋼計 28,048		50	26	計	43	其他	
65		計	26	鋼板の部		56	1	lbs	1,299	外車輪	223
70		棒鋼計 17,198		鋼板(0.7mm以下)		57	8	170	615	鋼軸	19
75		型鋼の部		B.W.G.No.		58	1	100	187	線	27
80		20mm	57	30	176	59	3	95	187	リベット	96
90		25	401	sheets	3,264	60	9	B.W.G.No.		トナット	2
100		30	119	13	18	62	27	30	377	小形切板	21
105		35	13	10	173	65	1	29	64	計	388
110		40	230	7	3,631	66	75	計	2,542	其他計 464	
120		60	37	計	3,631	67	9	二級品		鋼材計 61,660	
5''		65	31	鋼板(0.7mm超)		72	20	大形切板	205	銑鐵	
計		75	467	0.7mm	1	77	3	大形耳付	693	本所	25,072
角鋼		90	189	1	83	85	10	スコツ	4	洞岡	17,444
38mm		130	561	12	30	90	3	縞疵物板	37	戸畑	10,127
50		150	1,785	14	8	100	2	計	939	計 52,643	
55		計	3,890	15	6	104	9	鋼板計 13,980		軌條の部	
65		不等邊山形鋼		16	1,291	計	4,876	軌條		6K 719	
75		mm mm		18	3	耳付鋼板		8	621	8 621	
96		50×35	9	185	318	4.5mm	5	12	393	12 1,623	
100		75×65	33	2	14	6	30	16	44	19 1,046	
150		100×75	57	23	35	8	22	19	54	22 13	
計		125×75	158	25	5	9	100	22	52	25 4,789	
平鋼		150×90	137	26	6	計	610	計	9,225	計 9,225	
19mm		150×100	908	3	59	縞鋼板		軌條の部		計 52,643	
22		計	1,302	32	780	軌條		6K 719		計 52,643	
25		溝形鋼		35	8	6K 719		8 621		計 52,643	
32		mm mm		4	75	12 393		12 1,623		計 52,643	
38		75×40	31	42	1	16 44		19 1,046		計 52,643	
44		100×50	522	鋼板(0.7mm超)		19 54		22 13		計 52,643	
50		125×65	308	0.7mm	1	25 52		計 9,225		計 52,643	
60		1	83	1	83	計 4,876		計 9,225		計 52,643	
65		12	30	12	30	計 4,876		計 9,225		計 52,643	
75		14	8	14	8	計 4,876		計 9,225		計 52,643	
96		15	6	15	6	計 4,876		計 9,225		計 52,643	
100		16	1,291	16	1,291	計 4,876		計 9,225		計 52,643	
150		18	3	18	3	計 4,876		計 9,225		計 52,643	
計		185	318	185	318	計 4,876		計 9,225		計 52,643	
平鋼		2	14	2	14	計 4,876		計 9,225		計 52,643	
19mm		23	35	23	35	計 4,876		計 9,225		計 52,643	
22		25	5	25	5	計 4,876		計 9,225		計 52,643	
25		26	6	26	6	計 4,876		計 9,225		計 52,643	
32		3	59	3	59	計 4,876		計 9,225		計 52,643	
38		32	780	32	780	計 4,876		計 9,225		計 52,643	
44		35	8	35	8	計 4,876		計 9,225		計 52,643	
50		4	75	4	75	計 4,876		計 9,225		計 52,643	
60		42	1	42	1	計 4,876		計 9,225		計 52,643	
65		計	1	計	1	計 4,876		計 9,225		計 52,643	
75		鋼板(0.7mm超)		鋼板(0.7mm超)		計 4,876		計 9,225		計 52,643	

昭和6年10月中當所品種寸法別生産高 (其ノ二) (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
合金鐵		鋼塊		鋼片		シートバー		短尺及屑鋼			
フエロン	46	普通鋼塊	89,004	内部向	54,234	内部向	8,220	短尺	1,177		
シリコン		電氣爐塊	601	外部向	4,785	外部向	9,511	屑鋼	1,326		
			坩堝鋼塊	16							
			鑄造鋼塊	587							
計	46	計	90,208	計	59,019	計	17,731	計	2,503		

昭和6年9月中民間棒鋼生産高表 (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
丸鋼	36	237	3¾	37	角鋼	51	6	1¾	115		
6mm	311	38	515	4"	102	16mm	573	2	238		
8	23	40	16	4½	195	計	573	2¼	33		
9	12	42	267	二級品	165		63	2½	135		
11	1	44	122	三級品	210	平鋼	75	4	68		
12	4,110	48	5				76	13	計	2,914	
14	1	50	39			19mm	26	90	3		
16	2,873	55	2			22	38	95	2		
17	3	57	25			25	80	100	3		
19	3,867	60	1			26	43	102	7		
22	3,269	65	75			31	58	114	8		
25	2,698	70	25			32	25	127	6		
28	801	75	8			38	268	130	5		
32	493	86	2			44	213	150	11		
34	91	¾"	629	計	21,230	50	927	1½"	6	棒鋼合計	24,717

昭和6年10月中三港鋼材輸入數量表 (單位噸)

品種	區分	神戸	大阪	横濱	9月計	前月計	本年累計	前年同期累計
丸角平等	鋼	459	193	206	858	1,122	7,304	18,073
	鋼	74	—	48	122	124	1,127	2,010
	鋼	332	—	246	578	983	4,300	8,702
	山	51	—	44	95	173	415	7,700
不溝工鋼	等	4	—	—	4	37	230	4,730
	山形	25	—	—	25	—	438	4,525
	形	60	—	—	60	214	1,563	8,659
	板(0.7mm超)	323	75	164	562	1,195	5,336	35,804
"	(0.7mm以下)	489	1,455	891	2,835	1,496	15,192	27,363
	力條	1,947	380	3,391	5,718	5,084	34,336	47,166
	軌	24	749	44	817	460	3,520	9,227
	線	2,399	809	2,024	5,232	4,427	50,922	56,074
シートパイリング	鋼管	—	—	425	425	266	6,224	23,446
	其他	22	440	106	568	1,092	7,664	22,432
		504	285	614	1,403	1,012	6,433	18,527
	計	6,713	4,386	8,203	19,302	17,685	144,998	294,438
硫石ナク	炭	7,746	—	6,552	11,298	1,221	102,840	
	フリ	5	—	—	5	5	96	
	ソ	125	—	—	125	393	2,170	
	ール	5	—	10	15	101	493	